

## 令和7年度 第4回（第25回） 鎌倉市市民活動推進委員会 議事録概要版

- 日時 令和8年（2026年）3月2日（月） 16:00～17:10
- 場所 鎌倉市役所本庁舎 講堂
- 出席委員 中島委員長、土屋副委員長、水澤委員、山口委員、伊藤委員、東樹委員、中井委員、曾根委員、中川委員（以上委員9名出席）
- 事務局 市民防災部：瀧澤次長、下田係長、森林、奈木
- 傍聴者 なし

### 【1 議題】

#### （1）令和8年度つながる鎌倉エール事業の変更点について

事務局から令和8年度つながる鎌倉エール事業の変更点（資料1）について説明。

「2 講評の場への市民活動コーディネーター同席」については、案3として「講評の場ではなく、推進委員会に年1回（5月または9月）、コーディネーターに出席を依頼し、伴走支援に関する報告を受ける。」を追加し説明。

#### 結論

##### 「1 要綱・手引きの改定について」

事務局案のとおりとする。

##### 「2 講評の場への市民活動コーディネーター同席について」

エール事業審査選考会の講評の場への同席を依頼するとともに、必要に応じて市民活動推進委員会への出席を求める。

#### 主な意見

##### 「1 要綱・手引きの改定について」

虚偽や不正があった場合は補助金の返還が必要となる旨を事前に周知することが必要。

##### 「2 講評の場への市民活動コーディネーター同席について」

- ・NPOセンターに対し指定管理業務として仕様書に記載した内容以上のものを求めるのは難しいのではないかと。
- ・7年度に試行した際に、コーディネーターから申請までの経過等の具体的な話を聞いたことは良かった。
- ・伴走支援をするにあたり、まずはコーディネーターに講評の内容を理解してもらいたい。
- ・伴走支援に関する報告を受けるだけでなく、対等な立場で意見交換が出来ると良い。未来につながる話し合いの場としたい。
- ・講評の場への同席や委員会への出席はコーディネーターの意向も尊重し、コーディネーターにとって負担とならないような手法としたい。
- ・提案団体が直接講評を聞くという方法については、講評内容が当たり障りのない表現になってしまう可能性が高いため望ましくない。
- ・7年度に試行した際は、委員会として講評をとりまとめる前に、コーディネーターに各委員の意見をそのまま伝えた場面があったため、今後は委員会として少し整理してから伝えるなど工夫したい。

【2 報告事項】

- (1) 第二次指針（修正版）  
事務局から修正点について説明、意見なし。
- (2) 指針更新のスケジュールについて  
事務局からスケジュールを説明、意見なし。

以上